

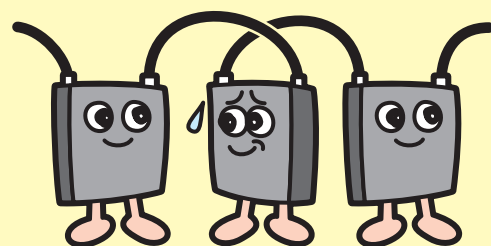
小形制御弁式鉛蓄電池は 正しく使いましょう



**間違った使用は、重大な災害を
引き起こす危険があります**

1 蓄電池の極性を逆にして使わない。

蓄電池の極性（⊕端子、⊖端子）を間違えないように接続してください。間違えて接続すると発煙・発火や機器破損などの原因になる恐れがあります。

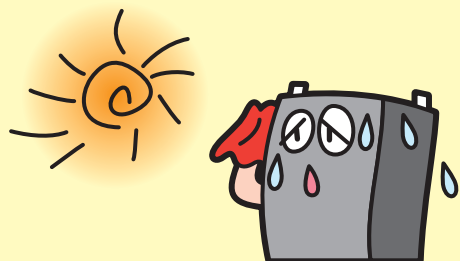
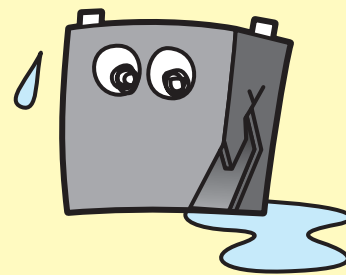


2 蓄電池はショート（短絡）させない。

蓄電池の⊕端子と⊖端子を針金等の金属類で接触（ショート）させないでください。また、レンチやスパナ等の工具類を使用する場合もショートさせないように注意してください。火傷、電解液の漏れ、発熱、爆発などの原因になる恐れがあります。

3 蓄電池の表面に深い傷や亀裂があるものは使用しない。

蓄電池のケースに割れ、電解液の漏れなどの異常があるときは使用しないでください。そのまま使用されますと漏電、発火などの原因になる恐れがあります。

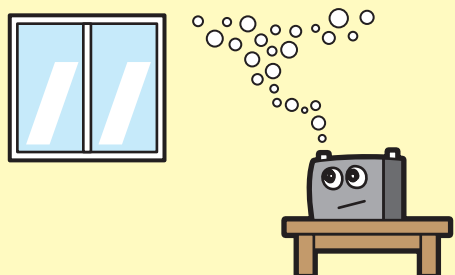
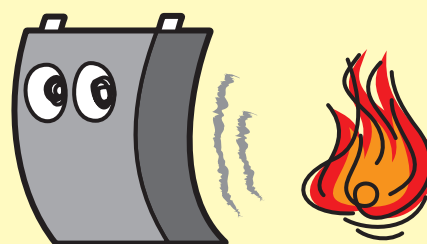


4 蓄電池の保管や使用は、直射日光、高温や多湿の場所を避ける。

直射日光によるケースの強度低下、蓄電池温度上昇による早期故障、結露によるショートの原因になる恐れがあります。

5 蓄電池は火気に近づけない。

蓄電池は使用中でも保管中でも水素ガスを発生します。水素ガスは引火性の高い気体なので、火気に近づけないでください。爆発の原因になる恐れがあります。

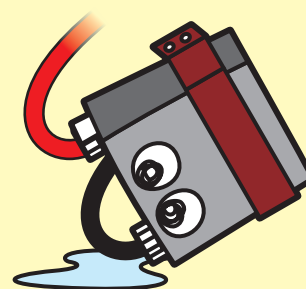


6 密閉した場所で使用しない。

閉めきった部屋や密閉された容器内で使用すると、徐々に水素ガスが部屋や容器内に滞留し、火気があった場合は引火爆発の原因になる恐れがあります。

7 正立から 90° を超えて倒して設置しない。

正立状態から各方向へ、蓄電池を 90° を超えて倒して設置すると、電解液の漏れの原因になる恐れがあります。

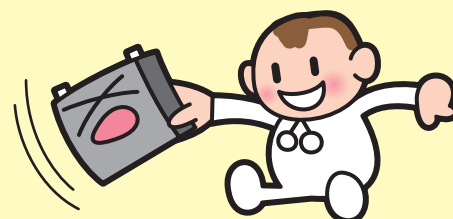


8 蓄電池は火中に投入しない。

蓄電池は火中へ投入したり、加熱したりしないでください。電解液の漏れ、破裂などの原因になる恐れがあります。

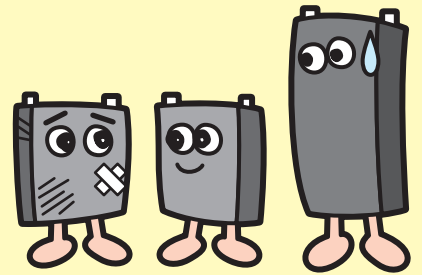
9 蓄電池の取り扱いを十分理解していない者に触れさせない。

取り扱いを誤り、火傷、電解液の漏れ、発熱、発火、破裂などの原因になる恐れがあります。



10 蓄電池は同じ種類を使用する。新旧の混用はしない。

メーカーや種類の違う蓄電池を混ぜると、それぞれの特性が違うので発熱、発火、破裂などの原因になる恐れがあります。また、同種類の蓄電池でも、新品と長期間使用して劣化したものでは、特性に差が生じていますので、本来の性能を出せない恐れがあります。

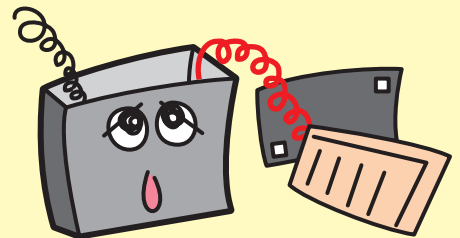


11 蓄電池には強い衝撃を与えない。

高所から落としたり、投げつけたりして強い衝撃を与えないでください。変形してショートし、発熱、発火、破裂、断線などの原因になる恐れがあります。また、衝撃によりケースに割れが生じると、電解液の漏れの原因になる恐れがあります。

12 蓄電池は分解や改造をしない。

蓄電池は分解や改造をしないでください。電解液の漏れ、発熱、破裂などの原因になる恐れがあります。

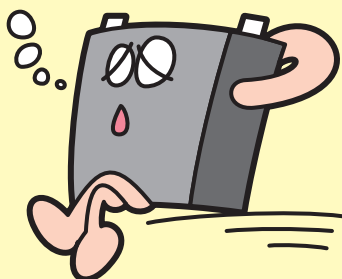
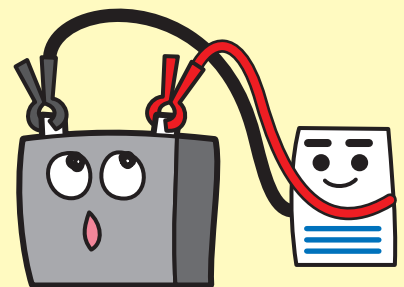


13 蓄電池は濡らさない。

蓄電池は濡らさないでください。水、ジュースなどの液体で濡らすと、ショートしたり、端子部がさびたりします。蓄電池を直列につないでいる場合は、全体の電圧が高いため、ショートによる発熱、発火、破裂などの恐れが高まります。

14 決められた方法で充電する。

それぞれの蓄電池に適した専用の充電器を使用することが重要です。間違った方法で充電すると電解液の漏れ、発熱、破裂、短寿命などの原因になる恐れがあります。

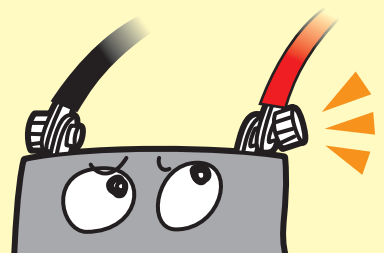


15 蓄電池は過放電させない。

蓄電池の性能を長期間維持するためには、決められた値（放電終止電圧）より低い電圧まで放電しないこと、放電した後はすぐに充電することが重要です。特に低い電圧まで放電した後に、充電せずに放置すると、寿命が極端に短くなる恐れがあります。

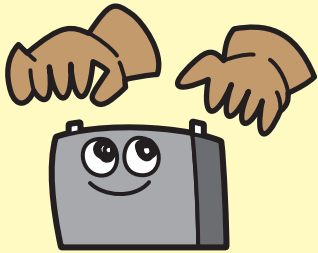
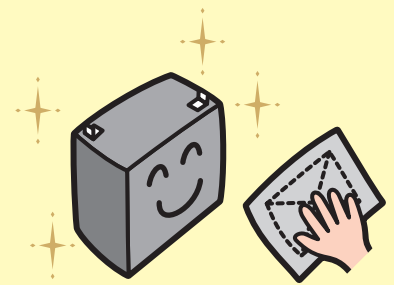
16 端子の接続部に緩みがある状態で使用しない。

設置時や点検時には端子の接続部に緩みがないことを確認してください。緩んだ状態で大きい電流が流れると、火花の発生や発熱により、発火の原因になる恐れがあります。



17 蓄電池の清掃は、水で濡らし固く絞った布でおこなってください。

シンナー等の有機溶剤や化学洗剤、化学雑巾等を使用するとケースに割れが発生し、電解液の漏れの原因となる恐れがあります。また、乾いた布やはたきを使用すると静電気による爆発の原因となる恐れがあります。

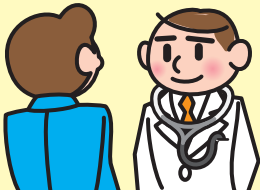


18 素手で端子に触れない。

蓄電池はいつも電圧を発生しています。素手で端子に触れると感電する恐れがあります。端子に触れる場合は、ゴム手袋などを着用してください。

19 蓄電池には寿命があります。

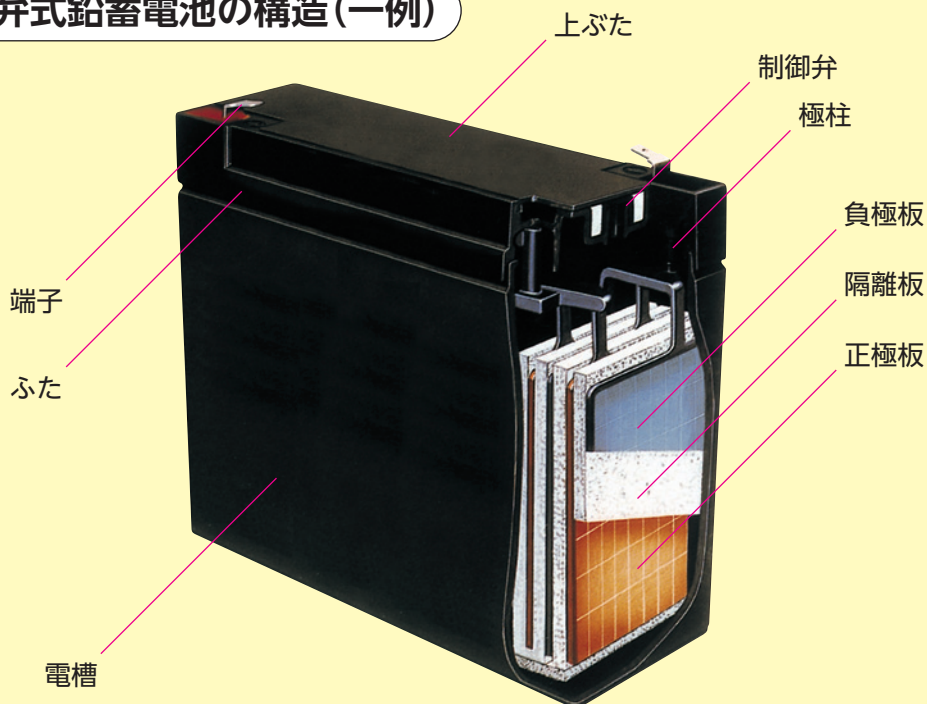
蓄電池はいつまでも使い続けることは出来ません。蓄電池が劣化すると交換が必要です。交換しないで使い続けると、発火などの原因になる恐れがあります。



20 電解液が皮膚や衣服についたら、水で洗い流す。

電解液（蓄電池の中の液、希硫酸）が皮膚や衣服についたら多量の水で洗い流してください。万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、直ちに医師の診察を受けてください。

小形制御弁式鉛蓄電池の構造(一例)



お問い合わせは…